

あすなろ

昭和48年1月13日

第3種郵便物認可

HSK通巻246号

発行 平成4年10月10日

毎月10日発行

あすなろ会

発行 北海道身体障害者団体

定期刊行物協会

あすなろ会 会報第62号

- ◎ 全道集会 採択アピール
- ◎ 全道集会に参加して
- ◎ 事業・資金委員会報告
- ◎ 会員インタビュー



1992年8月1日

第19回難病患者・障害者と家族の全道集会

アピール

さわやかで美しく短い北海道の夏。その凝縮された時間の中に自分たちのパワーを全開すべく、今年はこちら札幌の地に全道各地からたくさんの仲間が集まり、難病患者・障害者と家族の全道集会を開催いたしました。

私たちは19回目のアピールを道民の皆さん、難病・長期慢性疾患患者・障害者そして高齢者及びすべての未来の高齢者に送りたいと思います。

「経済大国」と呼ばれながら、他の先進国の中では社会保障と自然保護がもっとも遅れているといわれている日本。私たちは私たちの住んでいる国の政治が国民の信頼に応えるに足るものであって欲しいと心から願っています。

ひとりでも多くの方が私たちと手をつなぎ、豊かな未来に向かっていっしょに歩むことを呼びかけます。

そして、病気・障害を抱えた人、高齢者が一人の人間として、社会の一員として尊ばれ、希望をもって安心して暮らせる社会を実現させましょう。

次代をになう人々が現在の私たちより、もっと心豊かで幸せでありますように。



《 全道集会に参加して 》

福田道信

私は今年4月に「あすなる会」に入会して、初めて全道集会に参加させて頂きました。参加して若い人が少ないのには少し残念でした。体験発表では普段あまり聞いたことのない病気でしたので、勉強になるのと同時に、考えさせられることもありました。

アンサンブル「どるちえ」の皆さんの演奏はとても素晴らしかったです。和田先生の講演は海外でのことが主でしたが、とても勉強になりました。そして、もっと広い世界に目を向けていかなければと思いました。

「あすなる会」の交流会は、ポールスター札幌の星河で18名程が参加して行われましたが、終始楽しく過ごすことができ嬉しかったです。同じ多発性硬化症の方々と交流できてよかったです。皆さんとても明るい方達ばかりで、とても楽しい一時を過ごすことができました。全道集会に参加できて良かったと思います。次回も是非参加できたらと思っています。

最後に、役員の皆さん、ボランティアの皆さん、本当にお疲れ様でした。



＊＊1992年度 第2回事業・資金委員会

9月29日 18時30分より、難病センター3階大会議室に於いて、事業・資金委員会が行われました。その場で、次の8点に於いて報告を受け、それに於いて討議が行われました。

1. 昨年度の部会・支部への還元金に於いて。

この事に於いて、難連事務局から報告がありました。それによると、総額701,9901円（内あすなろ会209,074円）でした。別段異議がなく、報告がそのまま了承されました。

2. 本年度花火取扱い報告

全体で、前年比48万円の取扱い減となりました。

3. ビアガーデン利用券の取扱い報告

売上は、前年比40%アップの6,013,000円となりました。内、あすなろ会の売上は224枚112,000円でした。尚、この内10%が各部会に還元されます。

4. 正月飾りの取組みに於いて

この事に於いては、現在業者と折衝中です。決まり次第お知らせしたいと思います。

5. チャリティクリスマスパーティに於いて

本年度も次の要領で行いたい旨提案されました。

時：12月20日

所：エンペラー（N4W2アオキビル）

会費：昨年と同程度

6. 協力会に於いて

9月20日現在の、入会・入金状況が報告されました。

7. 募金箱に於いて

8. 全道集会協賛広告

以上の2点に於いても報告がありました。

今回のインタビューは、今年4月に入会しこの会報づくりなどでもご活躍の岡部伸雄さんの巻です。

◎まず、自己紹介をお願いします。

岡部・・・岡部伸雄。今年50才に。孫が今年3月に生まれました。豊平区在住で、老(?)夫婦と猫1匹の生活です。

◎岡部さんの病名を教えてください。

岡部・・・二つあって、一つが「シャルコーマリーツース」。発病が昭和56年ですので11年になります。僕の場合は進行が遅いようですが、手首から指先、足首から足先の障害が大きいので、食事の時やつり銭をとったりする時は不自由です。もう一つは「尋常性乾癬」これは7年になります。

◎岡部さんの趣味、特技を聞かせて下さい。

岡部・・・短歌づくり、ワープロ、会報づくり(今年1月に発足した乾癬の会もやっています)、読書。

◎会報づくりはとても楽しいそうです。でも、二つの会の会報に携わるというのは大変ではありませんか？

岡部・・・こんな楽しいこと、他人まかせにだけはさせられない、という感じです。



◎短歌も前号で発表してもらいましたが、短歌づくりはいつからですか？

岡部・・・3年前の乾癬での入院で、自ら何かをしたくて始めました。
だから、短歌をよく知っている人や専門の人から見れば「ちょっと・・・」と思われるかもしれないけど・・・。

◎いえいえ・・・。岡部さんの短歌には自らを励まし、皆も励ましたいという気持ちが強く伝わってきますよね。

岡部・・・ワープロや電子手帳があるおかげで、手が不自由でも文章をつくれたり、短歌がふっと浮かんだ時にすぐ記すことができるので、一つの救いですね。

◎なるほど。趣味であること全て、活力の源という感じですね。あすなる会でもこんな輪が広がって、皆さんの様々な声で誌面がいっぱいになるといいですね。

次に、生活の中で心掛けていらっしゃるなどありますか？

岡部・・・何でも楽しく考える事ですね。どうせ仕事をするならできるだけ楽しく、とかね。又、自分のやることで人の役に立てたら嬉しいですね。

◎こういう気持ち、よく分かりますね。会報づくりなどでも喜んで仕事を引き受けて下さっているのが嬉しいですね。

では、最近感動したこと、感動した本などありましたら教えて下さい。



岡部・・・宇宙のことが書いてある本や、古代史や考古学について書かれている本が好きですね。自分ができない様な事の本などは感激します。金子仞朗著の「ノアのはこぶね」とか、「ガリバー旅行記」、ホメロスの「オデッセウス」とか「源氏物語」の光源氏以降の巻など。

㊦書きだすときりが無いという感じですが、読書も趣味というだけあって、でてくる、でてくる・・・。著者名だけではなく、その内容まで話してくれました。

では、最後にあすなろ会の皆さんにメッセージを！

岡部・・・会のメンバーが、今を一生懸命に生きているということに出逢いを感じるの、少しでも役に立ちたいと思います。

㊦どうもありがとうございました。

今回はあすなろ会のニューフェイス、札幌市の岡部さんでした。ますますのご活躍を期待しています。



再びシャルコーマリーツース病の

患者の方に呼びかけます

会報61号での呼びかけに応じて一人の方から電話が来ました。お互いの症状、悩みどずいぶん昔からの知り合いのように話し合いました。札幌外の方でしたが名前を明しあうまでには至りませんでした。

貴方持つ病と同じ境遇と電話の主は名前かたらずきっと人には言えぬいろんなことがあったのだろうな、とこんな短歌を詠みました。も電話をいただいてとっても嬉しかったです。

今回は一人でしたが、まだいるのではないかと思います。現在は、原因不明、完治のめの治療法なし、国や自治体の対策不明等々におかれていますがこのまま黙っているとは思いません。この病気に詳しい医者を探しあて初歩的な知識を得ることからめませんか。

病気の程度によって、仕事が出来なく収入がない、介添え者がなくてはなどそんなに単に集まれるものではないという方もいることでしょう。そういうことも含めてご連絡いただければと思っています。

『JPC国会請願署名、募金活動』及び

『全国いっせい街頭署名行動』の参加お願い

1992年10月18日(日) 13:00~14:00

12:00(昼食をとりながら13:00迄打ち合わせ)

集合場所 三越デパート4階「ライラック」

署名行動場所 4丁目十字街

(参加出来る人は16日迄に必ず連絡を)

参加出来ない人も、道りがかったら、協力をお願い

北海道難病連運営協力会加入のお願い

誰でも加入出来ますので、よろしくお願ひします。一部あすなる会に還元されます。

後記

10月25日(日)多発性硬化症の医療講演会を開催出来、良かったと思います。あすなる会は、個々に色々な病気の人が会員ですので、自分の病気と違う病で、苦しんでいる人も助け合う事が出来ます。

あすなる会の中には、多発性硬化症の人もいますが、沢山の未加入の病気で苦しんでいる人もいますので、会員になったらお互い励まし病気と闘い、人生を歩みたいと望みます

(記 深沢 幸子)

編集人 個人参加難病患者の会
あすなる会

札幌市中央区南4条西10丁目

難病センター内(512-3233)HSK通巻246号

発行人 北海道身体障害者団体定期刊行物協会 神原義郎

札幌市北13条西1丁目

昭和48年1月13日第3種

郵便物認可

平成4年10月10日発行